

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	備考
										合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26		
										合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

その他関連する事業												
計画の名称												
事業種別	交付対象	市町村名	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	備考	
A 1-1-1	下水道	綾瀬市	管きょ施設長寿命化		綾瀬市						142.00	長寿命化支援制度 防災・安全移行先
A 1-1-6	下水道	綾瀬市	綾瀬終末処理場(管理棟,水処理施設,汚泥棟,ポンプ場等)		綾瀬市						541.00	0 防災・安全移行先
A 1-1-7	下水道	綾瀬市	綾瀬終末処理場(沈砂池設備,汚水ポンプ設備,汚泥処理設備等)		綾瀬市						1,136.00	0 長寿命化支援制度 防災・安全移行先

A'	1,819	B'	0	C'	0	$(C' \cdot C') / ((A' \cdot A') + (B' \cdot B') + (C' \cdot C'))$	0%
----	-------	----	---	----	---	---	----

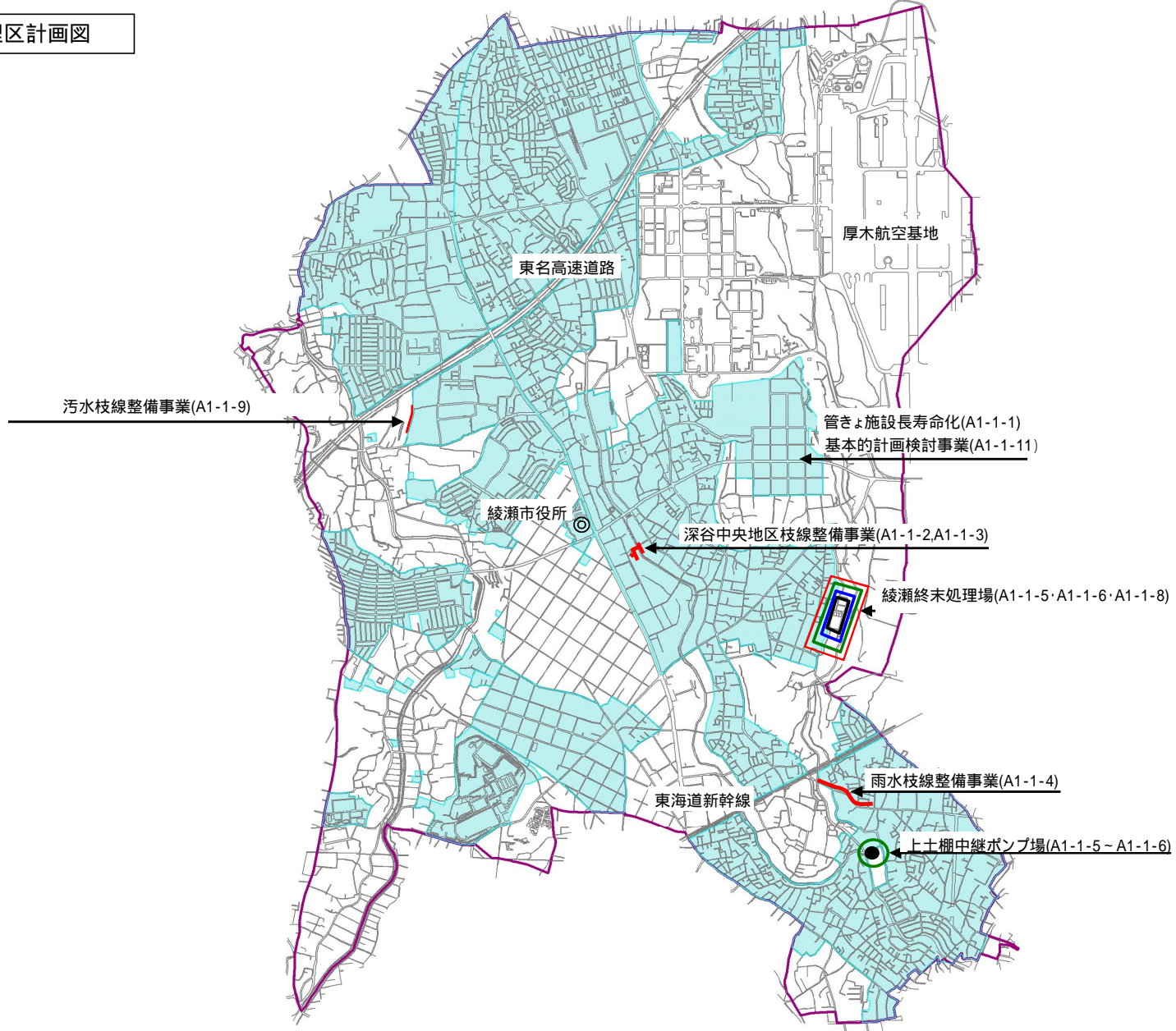
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

<p>定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況</p> <p>・汚水管きよの整備を促進したことにより、下水道処理人口普及率が0.4%増加し、生活環境の向上及び公共用水域の水質保全が図られた。 ・未整備箇所の雨水管整備を行ったことにより、雨水整備面積が0.1%増加し、浸水被害の軽減が図られた。 ・地震等の災害時における下水道機能の確保と下水道のライフサイクルコストを最小化するため、H23より管渠(汚水・雨水)の耐震化・長寿命化計画の策定を行い、H27までに実施率を1.1%にする計画でいたが平成25年度より防災安全交付金に移行した。 ・処理場の耐震診断及び長寿命化計画の策定をH23から実施し、それらを基に順次処理場施設の改築・更新工事を行い、H27には30.3%に増加させる計画でいたが平成25年度より防災安全交付金に移行した。 ・終末処理場への全体計画流入量に対する流入量が51.0%(H23)から54.9%(H27)に増加することから、流入する汚水の処理能力を十分に発揮できるよう施設の増設を行う予定でいたが、増設時期の検討中。</p>					
<p>定量的指標の達成状況</p>	<p>下水道処理人口普及率(汚水)</p>	最終目標値	94.30%	目標値と実績値に差が出た要因	<p>平成25年度に防災安全交付金に移行した。なお、防安では長寿命化計画を策定し、目標の1%に達した。</p> <p>平成25年度に防災安全交付金に移行した。なお、防安では処理場の耐震診断、耐震工事及び長寿命化計画を策定し、それらを基に処理場施設の改築・更新工事を実施し、目標の29.7%(防安に移行した時の目標値)を達成した。</p> <p>社会情勢の変化から、将来人口の減少や節水の傾向による流入水の減少等により増設の検討を行っているため目標の達成に至らなかった。</p>
		最終実績値	94.30%		
	<p>雨水管の計画面積に対する整備率</p>	最終目標値	67.90%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	67.90%		
	<p>下水道管渠(汚水・雨水)耐震化・長寿命化実施率</p>	最終目標値	1.00%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	0%		
	<p>耐震診断、長寿命化計画、処理場施設改築更新工事</p>	最終目標値	30.30%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	16.30%		
<p>処理場施設の増設</p>	最終目標値	54.90%	目標値と実績値に差が出た要因		
	最終実績値	51.00%			
<p>定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況</p>					
<p>3. 特記事項(今後の方針等)</p> <p>・汚水については快適な生活環境確保と公共用水域の水質保全を図るため、下水道の未普及地域解消に向け、より効率的かつ効果的な整備を進め、投資効果の高い地区や路線を選定し今後も事業を継続する。 ・雨水については、局地的な集中豪雨など、内水氾濫による浸水被害の軽減を図るため浸水被害箇所や未整備路線の整備を今後も継続する。</p>					

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	綾瀬市公共下水道事業	交付対象	綾瀬市
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）		

処理区計画図



凡例

- 下水道法による事業計画区域 (整備予定区域)
- 処理場
- ポンプ場
- 行政界

整備予定箇所の色分け

- 新設 (赤)
- 増設 (青)
- 改築 (緑)